

## インクカートリッジ里帰りプロジェクトとは

現在、インクカートリッジは、大半がごみとして捨てられているのが現状です。

そこで、使用済みインクカートリッジを回収し、再資源化することで地域社会と地球環境に貢献することを目的として、プリンタメーカーである、ブラザー、キヤノン、デル、セイコーエプソン、日本ヒューレット・パカード、の 5 社が協力しているプロジェクトです。



## プロジェクトの環境貢献活動

このプロジェクトは、製品のリサイクルはもちろんのこと、2010 年 4 月から国連環境計画 (UNEP) に回収したカートリッジ 1 個あたり 3 円の寄付を行い UNEP の実施する環境保護活動(植林等の森林保護、生物多様性の保全、3R(リユース、リデュース、リサイクル)活動など)に寄与しております。また、2011 年 10 月から環境省と国連大学高等研究所が主唱する SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) にも 同じく 1 個あたり 1 円の寄付を行い、IPSI が実施している東日本大震災復興支援活動と自然共生社会の構築に向けた活動に寄与しています。

## 回収した後はどうなるの

設置された専用回収箱がいっぱいになったら、郵便局を經由し仕分け拠点に届けられます。仕分け拠点であるミズベ作業所(エプソンの障害者雇用促進のための特例子会社で障がい者雇用を支援し、地域社会貢献の一助となってあるエプソンミズベのこと)でカートリッジはメ

一カーごとに仕分けされ、引き渡されます。その後、各メーカーがリサイクルを行い、再生カートリッジ、カートリッジ部品等などとして再生利用されます。



インクカートリッジの仕分け拠点ミズベ作業所とは、エプソンの障害者雇用促進のための特例子会社で障がい者雇用を支援し、地域社会貢献の一助となつてあるエプソンミズベのことです。

## 投入時のお願い

本プロジェクトの対象としてのインクカートリッジは、メーカー5社(ブラザー、キヤノン、デル、セイコーエプソン、日本ヒューレット・パッカード)の純正品(メーカー対応品等は除く)が対象であるため、それ以外のインクカートリッジは投入しないでください。